

大玄関

1884 年に渉成園に追加された大玄関は、馬車でやってくる大切なお客様の庭園への入り口となっていた。車から縁側に降りると、馬は南側にある「馬繋ぎ」に連れて行かれた。中にある 2 つの畳の部屋に直接行くことができ、その部屋は廊下で「聞風亭」とつながっている。

大玄関は元々、英照皇太后（1835～1897）の住居であった京都の大宮御所で建てられたものである。1880 年に明治天皇が来訪された後に渉成園に移されたが、これは天皇のように庭園を訪れる要人をきちんと迎え入れるためであったと考えられる。馬繋ぎも含めて当時のままの姿で保存されている。